

# 当院における外来透析患者用災害マニュアル作成と患者教育

沖野 光代<sup>1,2)</sup>, 小泉由貴美<sup>1,2)</sup>, 安田 卓二<sup>1)</sup>, 秦 温信<sup>1)</sup>, 荒川美和子<sup>2)</sup>

札幌社会保険総合病院 透析部<sup>1)</sup> 看護部<sup>2)</sup>

当施設では、透析患者用災害マニュアルは確立していない為、早急な患者教育を必要性があった。そこで、まず患者の災害に関する意識の程度や、想定される不安事項を外来透析患者に対して調査した。その結果を基に、1) 災害に備えて準備する事項、2) 災害発生時の連絡方法、3) 透析不能時の対処法(個人カード携帯について)、4) 透析中に被災した場合の避難方法、について外来透析患者用災害マニュアルを作成した。

キーワード：透析患者教育、災害マニュアル、透析カード

## 目 的

透析患者は透析自体の危険性のみならず、災害時には生命維持の為に透析を受けられるかという不安を抱えている。近年の大災害発生は、その不安を助長させていると考える。当施設では、病院全体の災害マニュアルは確立しているが、透析患者用災害マニュアルは確立していなかった。また、「災害発生時には患者の自助努力が第一である」との阪神大震災の被災報告もあることから、当施設でも早急な教育が必要と考えた。今回患者教育を行うにあたり、患者の災害に関する意識の程度や想定される不安事項を調査し、指導マニュアルを作成したので報告する。

## 方 法

当院の外来維持透析患者45名、男性20名、女性25名、(平均年齢57.3才、平均透析歴4年)を対象とした。1999年12月から2000年4月の間、独自で作成した22項目の質問を看護婦が患者個々に聞き取り調査した。この意識調査の結果からマニュアルを作成した。

## 結 果

(1) 自宅で被災した場合を想定した質問項目の中では「災害を考えた準備をしている」が33%、「透析不能時の注意点を理解している」が40%であっ

た。(2) 透析中に被災した場合の質問では、「近隣の透析施設の認識をしている」は44%、「透析室内の非常口を知っている」は29%であった。(3) 今後の教育に関する項目では「災害時講習の受講希望」が69%であった。また、本人、家族を含め「被災時の栄養管理や対処方法について知りたい」という意見もあった。(1)(2)のことから全体的に災害への関心が低く、災害発生時の準備はされていないことが明らかになった。しかし、(3)から患者・家族に教育を行う事により、危機管理の意識が高まるのではないかと考えた。これらのことから、アンケート結果をもとに、以下の項目を入れ外来透析患者用災害時マニュアルを作成した。1. 災害に備えて準備する事項、2. 災害発生時の連絡方法、3. 透析不能時の対処法(個人カード携帯について)、4. 透析中に被災した場合の避難方法。今回作成したマニュアルを使用し、現在、患者教育を施行中である。

## 結 論

外来透析患者の災害発生時についての意識調査をもとに、患者用災害マニュアルを作成した。患者とスタッフの危機管理の向上を目指した、より実践的な教育のためにマニュアルの評価、改善が今後の課題である。

## **A manual for the dialyzed patients in disasters of our out patient clinic and instructions of the patients**

Mitsuyo OKINO<sup>1, 2)</sup>, Yukimi KOIZUMI<sup>1, 2)</sup>  
Takuji YASUDA<sup>1)</sup>, Yoshinobu HATA<sup>1)</sup>, Miwako ARAKAWA<sup>2)</sup>  
Sapporo Social Insurance General Hospital, Department of dialysis<sup>1)</sup>,  
Department of Nursing<sup>2)</sup>

Since a manual for dialyzed patients in disasters have not been established in our hospital, the immediate instruction for the patients is required. Then the patients' consciousness of disasters and the anxious issues that should occur were promptly investigated in our out patient clinic. A manual for our patients in disasters based on the outcome about 1) the matters prepared against disasters, 2) the way to contact to the hospital in disasters, 3) management in case the dialysis service is hung down (about a pocket personal card), 4) the way to escape disaster in dialysis treatment.

---